

GPAに関する単位・成績の扱いについて

【ご意見・ご要望】(投稿日:2023年7月29日)

本学における GPA 制度は、学部によって異なるものの、卒業要件に算入される科目などがその対象となっていると存じております。

そこで、卒業に必要な単位より多くの科目を履修して学修し、その余分に履修した科目で低い成績を取った場合、それを取らなかった場合よりも GPA が低くなります。

具体的には、卒業要件が 140 単位の場合、140 単位分の科目で A の GP を取った場合よりも、140 単位分の科目で A の GP を取り、余分に履修した 2 単位で B の GP を取った場合の方が低い GPA となります。

これは、少なくとも形式的にはより豊かな内容を学修した場合の方が GPA が低くなってしまい、非常に不合理で現実を反映していない事態だと思われれます。

以上の理由より、既に履修した科目について、その成績を抹消する(その学期に休学した場合や履修取消した場合と同様に、単位習得しなかった扱いにする)あるいは増加単位として扱えるようにする制度が切実に求められます。

学内全体、あるいは各学部や国際高等教育院などでそのような制度は既に存在するのでしょうか。存在しないのであれば、制度を設計することを強く要望します。

【回答】(回答日:2023年8月2日)

(回答部署:教育推進・学生支援部教務企画課)

ご意見・ご要望いただきありがとうございます。

本学の学部科目における GPA 制度については、ご理解のとおり、GPA に参入する科目および同一科目を複数回履修した場合の計算方法等は各学部において定めております。

また、履修科目の単位数が GPA に影響を与えることから、履修登録確定後に、履修取り消し期間を設けております。